

会 議 録

会議の名称	第1回川越市観光振興計画審議会
開催日時	令和7年5月22日(木) 午前10時00分 開会 ・ 正午 閉会
開催場所	川越市役所7階 第5委員会室
会長氏名	獨協大学外国語学部 教授 鈴木 涼太郎
出席者・ 欠席者 氏名(人数)	別紙委員名簿のとおり
傍聴人	なし
事務局職員 職・氏名	飯野副部長、榎本課長、関根副課長、杉本副主幹、加藤副主幹、 大新井主査、宮川主任、中村主任
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委員の委嘱 3 あいさつ 4 会長・副会長の選出 5 諮問 6 会議及び会議録の公開について 7 報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 次期川越市観光振興計画の策定について (2) 現計画の評価 (3) 本市の観光に係る現状 8 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 現計画と現状から見る本市の課題について (2) 次期川越市観光振興計画の目指す姿について (3) 次期川越市観光振興計画の骨子案について 9 その他 10 閉会
配布資料	次第、出席者名簿、川越市観光振興計画審議会条例 資料1 第1回会議資料 資料2 現計画の進捗状況一覧

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>1 開会</p> <p>2 委員の委嘱 ・各委員の紹介、委嘱書の交付</p> <p>3 あいさつ ・産業観光部副部長あいさつ ・各委員のあいさつ・自己紹介 ・事務局紹介</p> <p>4 会長・副会長の選出 ・委員の互選により、会長及び副会長選出 ・会長・副会長の就任あいさつ</p> <p>5 諮問 ・産業観光部副部長から会長へ諮問書を提出</p> <p>6 会議及び会議録の公開について 会長より ①会議は原則公開すること ②市民等への傍聴を認め、定員を5人とする ③会議録を市HPに公開し、発言は「会長」「副会長」「委員」で記録すること 以上を委員に承認を求め、認められる。</p> <p>7 報告 (1) 次期川越市観光振興計画の策定について (2) 現計画の評価 (3) 本市の観光に係る現状</p>
事務局	<資料1、2を基に説明>
委員	計画の期間が5年であるのは何故か。一般企業の常識からすると3年が普通であると思われる。
事務局	行政においては5年もしくは10年というのが一般的である。中には福祉分野で、3年というものもあるが、これまでの観光振興計画は計画期間10年としてきた。今後は、改善を図っていくためにも、計画期間を5年としていきたいと考える。
委員	DXを考えると、DXの進歩は早く、5年では遅い。例えば、

事務局	<p>川越市HPのAI検索で審議会を検索したが、本審議会のことが全く出てこなかった。おそらく昔のAI技術で検索機能を作成しているため該当しなかったと思われる。IT技術の進化は早いいため5年だと追いつかないと思う。</p> <p>他に5年にしている理由として、観光振興計画の上位計画である川越市総合計画が前期5年後期5年であるため、それに合わせた。</p>
会長	<p>DXの進化は確かに日進月歩であるため、計画作成にあたってはそのことについて十分考慮する必要があると考える。</p>
委員	<p>行政と民間及びマーケットとのスピードは異なるため、相互を比較するのは難しい。5年前の観光の状況と異なるのは確かである。</p> <p>ただし、資料2のとおり、毎年計画の評価等は行っているため、それらから柔軟に対応はできるのではと考える。そのため、DXや新しいテクノロジーを取り入れることも可能ではないかと考えられる。</p>
委員	<p>資料1のP13の現計画の評価について伺いたい。施策25早朝・夜間の観光の促進について、資料2にある目標値は40%となっているが、資料1では65%となっており整合性が取れていないのではないか。</p>
事務局	<p>施策の個別の目標値と全体の目標値の違いであり、整合性が取れていないのは確認している。次期計画では整合性の取れた目標等を作成するように注意したいと考えている。</p>
委員	<p>資料1のP13の施策32のデジタル技術を活用した情報発信について伺いたい。川越市の公式インスタグラムが3,900フォロワー、公式Xが36,000フォロワーとなっている。一方で、資料1のP19の観光アンケート調査の認知方法ではインスタグラムが上位に来ているが、今後も川越市公式のインスタグラムを注力していくのか。</p> <p>また、SNSの中でもXとインスタグラムでは利用者層は異なっている点についてはどのように考えているか。</p> <p>さらに、川越市公式のSNSでは、観光以外にも、例えばゴミの収集のことなどの色々な生活情報も発信しているが、やはり、観</p>

	<p>光に特化したものが必要と考える。インスタグラムのリール動画等の視聴回数を調べるなど専門的な分析を行うことが必要と考える。</p> <p>情報の一元化も必要であると考えられる。観光協会も独自のSNSを所有しているが、十分に情報が連携されていると思えない。情報を一元化することで、費用を抑えることや、さらなる情報発信の最大の効果を出せると考える。昨年度作られたデジタルマップも認知度が低い印象を受ける。デジタルマップを使ってイベントや集客をしていくのか。そのあたりが重要なのではと考える。</p>
会長	<p>日々若い学生と接しているため、世代によるSNSの使い方の違いを痛感している。情報の一元化についても検討が必要であり、貴重な意見であると考ええる。</p>
事務局	<p>川越市公式のHP・Xよりも観光協会のHP・Xの閲覧数やアクセス数が多いのは把握している。情報の一元化についても重要であると認識している。昨年度にオーバーツーリズム対策としてマナー啓発動画等を作成し、それを観光協会のHPに一元化して掲載した実績がある。</p> <p>また、若い世代はHPではなくSNSを見る傾向にあることも理解しており、それらも踏まえて情報の一元化も必要であると考ええる。観光関連団体と情報共有しながら、情報発信をしていきたいと考える。</p>
	<p>8 議事</p> <p>(1) 現計画と現状から見る本市の課題について</p>
事務局	<p><資料1を基に説明></p>
委員	<p>川越市民に観光に予算を費やすことへの理解を得ることが必要ではないか。国内外から観光客が来訪していることによって、鉄道など交通の利便性が高まっていることや国際交流が生まれている。川越の街のブランドが観光を通じて作られているということを市民に理解してもらいたい。市としても、次期観光振興計画でこの点をはっきりさせて、市民の理解を得る必要があるのではないか。</p>
会長	<p>現在市外に在住している立場からすると、川越は観光地として</p>

委員	<p>知名度が高く、出身者としては誇りに感じている。一方市内で暮らす人々にとっては、観光のメリットが実感しにくいのではないだろうか。この意見は重要なので市としても取り組む必要があると考えられる。</p> <p>観光協会でも様々な議論があるが、オーバーツーリズムともいえる現状を踏まえると、観光客数の増加を目指すことが本当に適切なのだろうか。観光に関する目標値に人数を含めることが果たして適切か検討する必要がある。滞在時間の短さが問題とされているが、滞在時間を長くすると、さらに混雑が増すのではないかと懸念される。短い滞在時間で繰り返し来訪して、リピートの度に川越の様々な場所に行ってもらおうという考え方もあるのではないだろうか。</p> <p>また、インバウンドの受け入れについても検討する必要がある。外国人観光客が安全に楽しく過ごせるように準備しているが、迎える側には大きな負担がかかっており、非常に深刻な問題だと感じている。この点については再三話しているが、地域が疲弊しないようにインバウンドをバランス良く考えることが重要だと思う。</p>
会長	<p>観光について、観光客の数や量だけではなく、観光地や観光経験の質についても考えることが、今後重要になってくると考えられる。</p>
事務局	<p>観光客数を1,000万人目指していた時代もあった。本当に質の部分が大事だと思うので、そういった側面を捉えつつ、マナーの面について様々な意見を聞いている。受け入れ先が疲弊しないように我々も注意していきたいと改めて痛感した。</p>
委員	<p>川越には様々な商店街がある。点と線のように広く回遊性を重んじた、観光客の受け入れを考えてほしい。一番街が注目されるが、川越のポテンシャルはそれだけではないと思う。川越には様々なものがあり、もっとアピールしていいと思う。</p>
会長	<p>市内を広域に回遊する中で滞在時間を増やせれば非常に良いのではないか。回遊性に関する重要な指摘であると考えられる。</p>
委員	<p>資料1のP26の課題について、一番街とそれ以外で分けたほうがわかりやすいのではないか。</p>

会長	<p>確かにご指摘の通りだと思われる。たとえば情報発信については、一番街では、魅力の発信というよりは、交通渋滞などの受け入れ環境整備のための情報発信が大事になってくる。最終的に市民の皆様に見ていただくものだとすると、そのあたりは分けた方がわかりやすいだろう。</p>
会長	<p>具体的で重要な指摘や課題がいくつも出てきたと思う。観光振興計画の策定にあたってはこれらを参考にあらたに提案していただきたい。</p> <p>8 議事 (2) 次期川越市観光振興計画の目指す姿について</p>
事務局	<p><資料1を基に説明></p>
委員	<p>「住んでよし、訪れてよし、営んでよし」の理念は、大変素晴らしく賛成である。そのためには、3者が皆で取り組んでいかなければならないことがたくさんある。事業者としては、挨拶や心配りを通じて、「来て良かった」と思ってもらえるようなサービスを提供することが大切である。また、街を美しく保つことは、事業者や住民が共に取り組まなければならないことであり、季節感を大事にする等受け入れる側も守らなければならない。観光客だけに制限をかけるのではなく、住民がどれだけ川越を大事にしているかを観光客に見せることが、ゴミのポイ捨てをさせないということに繋がり、住民が誇りを持ち、実践することで、観光客にアピールできると同時に、訪問してくれた方々に対して大事な責任を果たすことができるのではないか。このような住民や事業者が増えれば、観光における偏った取材も減る可能性がある。こうした取組みが、オーバーツーリズムを解決するための鍵となるのではないかと考える。そのようなことを観光振興計画の一番基本的な部分に据えてもらいたい。</p> <p>また、来訪者の9割を占める日本人観光客に対して質の高い観光をどうしたら良いかについて考える必要があると思う。このほか、車で川越に来る際に、川越ICを降りてからの蔵の街への行き方、一番街の場所、駐車場がわからない。帰る時も同様で、帰りの道順がわからない。そのようなところから見直してもらいたい。</p>
会長	<p>オーバーツーリズム問題については、観光客にマナーを遵守す</p>

	<p>るよう求めるだけでなく、地元の住民や事業者側ができることもあるという、非常に重要な指摘である。</p>
<p>委員</p>	<p>川越の真髄をもっと見てもらいたい。観光客が堅苦しくなく、わかりやすく楽しむことができ、観光客の人生の中の思い出の1ページになるような、川越に来てよかったと感動を味わってもらえるようになってほしい。</p>
<p>副会長</p>	<p>川越は広く様々な産業がある。そのような点を線で結べるよう、ソフトの面は一般企業、ハードの面は行政が担うことで、全体で観光を見ていかななくてはいけないと思う。</p> <p>一番街だけを特化するのではなく、もっと広く見てもらえるようにしてほしい。</p>
<p>会長</p>	<p>ご指摘のように一番街だけでなく、市内のほかの場所の魅力を紹介することが重要になると考えられる。</p>
	<p>8 議事 (3) 次期川越市観光振興計画の骨子案について</p>
<p>事務局</p>	<p><資料1を基に説明></p>
<p>委員</p>	<p>オーバーツーリズムは全国的にも注目されており、関東の中では川越は特に注目されている。この状況の中で、これからの5年10年で川越がどういう方向性に向けて観光振興していくのかということで、今回の計画は注目されていると考えられる。</p> <p>目指す姿で1番最初に「住んでよし」が来ているのは、川越市としてのメッセージとして住民にも受け取れるかと思うが、それを踏まえると、「住んでよし、訪れてよし、営んでよし」という状態というのは、具体的にどういう状態なのかということ、かなり具体的に議論する必要がある。その具体的なイメージをもとに基本方針が決まり、基本方針に合わせて政策が決まり、住む人、訪れる人、営む人にとってのメリットや対応が図れるような計画の仕組みでないと続かないと思うため、その辺りの体系的な整理をしていくとよい。現在の作りでは、「訪れてよし」が中心になっている気がするため、そこだけでなく、「住んでよし」、「営んでよし」にどう関わってくるのかをもう少し体系的に整理をするがある。</p>

事務局	<p>ただいまの意見を参考に、もう一度整理やブラッシュアップをして、次回の審議会にお示ししたい。</p>
委員	<p>この中でワークショップをするという考えもある。</p>
委員	<p>来訪する観光客について、年齢別や家族構成別の資料はあるのか。また回遊性の促進に関連して、JR 南古谷駅を利用する可能性も検討すべきでは。外国人はサイクリングが好きなので、他市をまたぐサイクリングルートを広域観光に活用してはどうか。</p>
委員	<p>先程、ワークショップという意見もあったが、この中でワーキンググループを作って行うのか、意見を言い合って観光課でまとめるという方法なのか、今後どのように進めていくのか。</p>
会長	<p>一つ前の意見で出た観光客に関するアンケートのデータについては、詳細なものがあれば共有してほしい。</p> <p>今日は非常に実質的な意見がたくさん出てきたため、あと2回だけの審議会ですべてを消化できるかどうか心もとない。これらを次回にむけてどのようにフィードバックするか、事務局の考えはあるか。</p>
事務局	<p>今のところ、ワークショップは考えていない。本日の意見を基に事務局の考えをまとめつつ、会長・副会長に相談していきたいと思うが、いかがか。</p>
会長	<p>この場で何かを決めることは難しい。ただ、せっかくこれだけ多くの建設的なご意見が出ているため、もう少し皆さんの意見を聞く場を設けてもよいのではないか。個別に事務局に意見を送り、それを委員間で共有することもできる。具体的な方法について何があるのかについては、今後、会長、副会長、事務局の方で相談させていただきたい。</p>
事務局	<p>9 その他 <今後のスケジュールを説明></p> <p>10 閉会</p>